

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料科名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正使用 情報	感染症(PT)	出典	概要
												チングニヤウ イルス感染	ODC/Traveler's Health 2007年9月 11日	イタリア保健当局は最近、イタリア北東部のRavenna地方における166例のチングニヤウ熱症例(内27例は確定例)を報告した。検査の結果、同地方の蚊が感染を媒介していることが明らかとなった。ヨーロッパにおいて蚊によるチングニヤウイルス伝播は今回が初めてである。同地方への旅行者は蚊に刺されないように準備し、また、チングニヤウ熱の症状に注意を払うべきである。
												鳥インフルエンザ	Lancet 2007; 370: 1137-1145	H5N1インフルエンザウイルスに感染した男性1名および妊婦1名とその胎児の剖検組織を調べた。肺のⅡ型上皮細胞、気管の上皮細胞、リンパ節のT細胞、脳の神経細胞及び胎盤のホフバウエル細胞と細胞栄養層でウイルス遺伝子配列と抗原が検出され、腸粘膜ではウイルス遺伝子配列のみが検出された。胎児では肺、末梢単核細胞、肝マクロファージに遺伝子配列と抗原が検出された。本ウイルスは肺だけでなく気管に感染し、脳を含む他の器官に拡がり、また胎盤を通過し、母親から胎児にも伝播している。
814	2007/12/21	70814	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Aspergillus fumigatus			有効成分	無	無			
815	2007/12/21	70815	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Alternaria kikuchiana			有効成分	無	無			
816	2007/12/21	70816	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Candida albicans			有効成分	無	無			
817	2007/12/21	70817	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Cladosporium cladosporioides			有効成分	無	無			
818	2007/12/21	70818	鳥居薬品	アレルゲンエキス	アレルゲン エキス	Penicillium luteum			有効成分	無	無			
819	2007/12/21	70819	協和醸造 工業	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズ ハムスター 卵巣細胞	チャイニーズ ハムスター 卵巣細胞	米国	製造工程	無	無	無			